

2004.9.9

C G L NEWS Vol.1

/ Conference on Green Logistics in Japan

<http://www.logistics.or.jp/green/gaiyou/establish.html>

『C G L NEWS』は、ロジスティクス環境会議の委員会メンバーの方々を対象として、毎月1回のペースで環境会議の各委員会の活動状況と行政動向に関する情報提供を行って参ります。

お知らせすべきニュースがある場合は、都度発信させていただきます。

#### 【各委員会の活動状況】

第2回本会議（4月）が開催された後、各委員会では、事例集やマニュアル等のアウトプットの創出に向け、一部委員会では分科会を設置して具体的な検討を重ねています。

環境会議のホームページに各委員会の資料、議事録を掲載しております。

<http://www.logistics.or.jp/green/shiryo/index.html>

ホームページのインデックス、レイアウト等が見難い状況ですが、見直しをしておりますので、今しばらく御容赦ください。

#### 【行政動向1：グリーン物流パートナーシップ会議】

9月7日（火）、日本経済新聞の朝刊5面にも記事が掲載されましたが、9月6日（月）、経済産業省と国土交通省が主体となって、グリーン物流パートナーシップ会議が開催されることが発表されました。両省と社団法人日本経済団体連合会、社団法人日本物流団体連合会、社団法人日本ロジスティクスシステム協会とともに、「グリーン物流パートナーシップ会議」を設置する旨の内容が掲載されていますが、残念ながら具体的な内容はまだ固まっていません。趣旨はC G Lと同様であるため、C G Lと上記会議の役割を明確にし、中身が具体化した暁には、各位に改めてご説明したいと存じます。

#### グリーン物流パートナーシップ会議の概要

<http://www.meti.go.jp/press/0005552/index.html>

#### 【行政動向2：地球温暖化対策推進大綱の見直し状況】

京都議定書における我が国の6%削減の約束（1990年度比で2008～2010年までに実現）を達成するため、地球温暖化対策推進大綱に基づき、地球温暖化に対する諸対策、施策が講じられていますが、今年度はその評価・見直しの年とされています。結論として、全体では6%削減の目標の達成は難しい状況です。

「運輸」の排出量が増加しており、てこ入れが必要だと声高に叫ばれています。

こうなると真っ先に槍玉にあがるのは、物流関係の「貨物」と思われがちですが、現在の見通しでは、「貨物」は - 2%とされています。  
一般家庭の乗用車を含めた「旅客」の + 41%をどうするか、という視点ではあまり議論されていないようです。  
ともあれ、「貨物」の領域は、荷主企業と物流企業の連携を強化すれば、削減のポテンシャルがあると見込まれているようです。

#### 京都議定書の概要

<http://www.env.go.jp/earth/cop6/3-2.html>

#### 地球温暖化対策推進大綱の概要

<http://www.env.go.jp/earth/ondanka/taiko/outline.pdf>

#### 地球温暖化対策推進大綱の評価・見直しに向けた課題

<http://www.meti.go.jp/feedback/data/i40702aj.htm>

#### ロジスティクス環境会議ニュース配信について

本メールは環境会議の各委員会にご登録いただいている方に配信しております。

企画編集：ロジスティクス環境会議 広報・普及専門委員会

発信元：社団法人日本ロジスティクスシステム協会

お問い合わせ、配信停止・変更は：[cgl@logistics.or.jp](mailto:cgl@logistics.or.jp)

各委員会に対する質問、要望等も上記アドレスにお願いいたします。

(C) C G L NEWS All Rights Reserved.